



Monthly Magazine
2026
4
vol.154

SPECIAL CONTENT

ヤンゴンは今どうなっているのか ヤンゴン定点観測アーカイブ

COLUMN

ミャンマーの経済状況がわかる連載コラム
税務会計 / ジャパンアウトソーシングサービス
ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医
ミャウンミヤからこんにちは! / 名知仁子

ティラワ経済特区ほか
"最新版" ミャンジャポ特製MAP

TAKE FREE



DXプラットフォームに特化したソリューションで お客様のビジネス変革をサポートします!

8年以上の日本向けソフトウェア開発（オンショア・オフショア）の経験と
ノウハウを持つ若手専門チームは、お客様のビジネスニーズに
合わせた革新的なソリューションをスピーディーに提供します。

【ソフトウェア開発・システム設計】



お客様のご要望に応じたソフトウェア開発のみならず、
開発したソフトを実装するためのシステムの設計、
AWSなどのクラウド上での実装、検証、構築から保守と
技術サポートまで一気通貫で対応いたします。

【ノーコード系ソリューション】



Salesforce, Mendix, ThingsBoard, ThoughtSpot
などのノーコードプラットフォーム上での開発実績のある
エンジニアを多数保有しており、お客様の様々な業務の
課題のスピーディーな解決にご対応いたします。

【モバイルAPL 開発】



クラウドにあるバックエンドサービスとモバイルの
フロントエンドを連携した様々なAPI連携モバイルアプリ
開発を得意としている開発チームは皆様の多様な
モバイルアプリの開発をスピーディーに対応いたします。

Work For Smile! Work For Happiness!

デジタルBPOによる 革新的なBPOサービス!

弊社はBPO業務において、日本と現地との間で業
務依頼から成果物提出までのプロセスにおいて独
自開発のDigital BPOシステムとセキュアな情報
交換の仕組みを活用して対応します。
その結果、お客様から依頼された業務の監視と管
理をリアルタイムで共有管理することで継続的な
コストダウンと品質の向上を実現する革新的な
BPOサービスです。

主なBPOサービス

- ・キャリア系ネットワーク構築完成図書のチェック
- ・購買関連プロセスのBPO業務
- ・オフィスデザイン (2D/3D) のBPO業務
- ・ネットワーク設計 (CAD) のBPO業務

お客様のニーズに合わせた 幅広い技術分野でのSESサービス!

主なSESサービス

- ・AWS設計・構築・監視・保守
- ・データセンター構築・保守
- ・オフィスネットワーク設計・構築
- ・コールセンターNWの設計・構築・保守



VTuber のすべてを網羅したプレミアサイト!

iVirtualArt の魔法を探ろう、ライブ2Dアバターモデルの作成、デザイン、リギングなどの
サービスでデジタルペルソナに命を吹き込むためのワンストップサービス!

今すぐ利用可能!



デザイン

魅惑的なデジタルアバターに
変身して、これまでにない
方法で視聴者と交流しましょう。



イラスト

詳細なキャラクターデザインと、
リギングの準備が整った
PSD ファイルでカスタマイズの
可能性を解き放ちます。



リギング
サービス

専門チームによるリギングサービス
でキャラクターを次のレベルに
引き上げ、シームレスな動きと
表現を保証します。



www.ivirtualart.com



iva@isgm2.com

OneJPN

**JLPT
N5~N1**

N5
Free
Study



OneJPN: JLPT マスターを選ぶ理由

- 総合評価テスト
- 魅力的なビデオ レッスン
- 練習、練習、練習
- 生成された JLPT 問題集



OneJPNのメリット

- ・パーソナライズされた学習
- ・エンゲージメントとモチベーション
- ・自信の醸成

**OneJPN
JLPT
マスター**



www.onejpn.com





Special Content

ヤンゴンは今どうなっているのか
ヤンゴン定点観測アーカイブ 4

コラム① ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医 ミャウンミヤからこんにちは！ 5

NPO 法人ミャンマー国際支援機構 (MIAO) 6

ビジネスニュースダイジェスト 8

コラム② ミャンマー税務会計 などしこ通信 9

クーデター関連ニュースまとめ 10

使える！ミャンジャボ特製MAP 12

ヤンゴン全域12-13 シュエダゴン・パゴダ～インヤー湖(南) 14-15

ダウンタウン周辺16-17 ティラワ経済特区 (SEZ) ZONE A18-19

ティラワ経済特区 (SEZ) ZONE B20

毎月1日発行
ミャンマーの”使える”ビジネス情報誌

MYANMAR
JAPON

電子ブックで利便性向上!
myanmarjapon.com/magazine

くわしくは

ミャンマージャポン 検索

<https://myanmarjapon.com>

「MYANMAR JAPON」4月号 vol.154
2026年4月1日発行
MJJ ホールディングス株式会社 CEO 永杉 豊
東京都中央区日本橋3-2-14 新橋町ビル別館第一1F
●広告掲載や取材依頼に関するお問い合わせ
Tel: 03-5698-2165 (日本) Email: info@myanmarjapon.com

10年以上のICT業界での経験を活かし、お客様のビジネス課題を解決し、成長をサポートします。
優秀な人材を揃え、低コストで高品質なサービスをご提供しております。

デジタルBPOサービスでお客様のビジネスを発展させる。

サポートされているサービス項目:



ソフトウェア開発



IT およびクラウド サービス



CAD エンジニアリング サービス



ドキュメント チェック サービス



アート & デザイン サービス



**お客様の満足が
私たちの利益です！**

弊社はグローバルなビジネス顧客をサポートしており、日本語でのサポートもご提供可能です。

ヤンゴン 定点観測 アーカイブ



ヤンゴンは今どうなっているのか。最新画像とともに、主要スポットの現在をお伝えする(特記以外2026年3月17日撮影)。

ナンバープレートによる車両走行規制が開始され、市内の交通量は明らかに減少。各所で交通警察の厳しい目が光っている。

タイムズシティ(3月19日撮影)



館内ではアパレルや菓子類の販売が行われ、一定数の来客が見られた。屋外プロモーションエリアでは、週末に向けて展示会の開催準備が進められていた。

ボヤニョン通り



デリバリーの自転車や歩行者が目立つ。道路沿いの店舗は営業しているものの、買い物客はほとんど見られなかった。

ボージョー アウン サン マーケット



外国人の姿はほぼ見られず、宝石店の客も少ない。観光需要の低迷が商売に直結している様子がうかがえる。

ヨーミンジー通り



日中の暑さを避けるためか、カフェなどで休憩する人が多く屋内施設への需要が高まっている。

ミャンマープラザ



携帯電話端末の登録義務化が発表された影響で、通信会社のショップでは手続き待ちや問い合わせる客で混雑していた。

レーダンセンター



試験時期のためか若者の来客が少ない。館内中央には教育関連のブースが設置されていたが、人々の関心は低い。

ジャンクシオンシティ



アパレルや菓子類の販売が行われ、女性客を中心に一定の関心を集めていた。家族連れや若者グループの姿も目立った。

ジャンクシオンスクエア



来客自体は少なめだったが、木製を中心とした家具類の展示会が行われており、ファミリー層などの注目を集めていた。

ガソリンスタンド



警察官の監視が厳しく、道路の反対側から撮影。給油回数制限の影響で、久々に車列が発生していた。



ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医

ミヤウンミヤから こんにちは!



第49回・“まさかの時代”を生き抜く それでも、命をつなぐ歩みを止めない

こんにちは!ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(MFCG)代表理事・医師の名知仁子です。いつも温かい応援を本当にありがとうございます。

中東情勢の影響、ここにも

2026年3月、ミャンマーでは新たな規制が発表されました。給油は1日1回、上限は50,000Ks分。さらに、車両はナンバーの偶数・奇数に応じて使用日が制限され、厳格な取り締まりも行われています。違反者には罰金や拘束の可能性もあるとされ、日常の移動すら制限される状況となっています。

これらの規制は、私たちの活動にも直撃しています。村々を巡回する移動クリニックは、病院へ行くことが困難な人々の命を支える大切な存在です。徒歩で数時間、オートバイでも1時間以上かかる地域では、診療の遅れが命に関わります。だからこそ、私たちは自ら村へ足を運び、医療とともに手洗いや歯磨きなどの保健衛生の知識を伝え、「自分の命は自分で守る」力を育んできました。

2019年に皆さまのご支援により実現した巡回診療車は、これまで4万人以上の方々の命と向き合ってきました。しかし今、その車が思うように動かせない現実に直面しています。ガソリン不足により訪問日を変更せざるを得ないことも起きています。

さらに、スタッフの通勤手段であるオートバイにも走行規制や給油制限が導入され、日々の活動基盤そのものが揺らいでいます。

それでも、私たちは立ち止まりません。

医療と菜園で笑顔に

度重なる社会情勢の変化の中で「ミャンマーの未来を創る10年計画」を一時停止し、私たちは新たに2年計画を立ち上げました。

合言葉は「命の架け橋～ミャンマーを医療と菜園で笑顔に～」。

医療分野では、地域の人々自身が健康を守る力を育てる『自分たちの健康は自分で守る、そして自分たちの未来を創るという地域健康プロジェクト(Empowered Health to create Independent Future in Community Health Project)』を推進。安全な水の確保に向けた井戸掘りも進めています。

農業分野では『手をつないで、希望を育てる 有機コミュニティー菜園(Sharing Hands, Growing



©MFCG

Hopein Organic Community Garden)』を展開。デルタ地域特有の長い雨期でも野菜栽培ができるよう、土地を整備し、年間を通じて栄養を確保できる環境づくりに挑んでいます。今月は、土を盛り、未来の収穫につながる大地を整える作業が進んでいます。

どんな困難な状況でも、私たちはあきらめません。ミャンマーの未来は、必ず人々の手で築かれていきます。その歩みを、ともに支えていただけたら嬉しいです。どうかこれからも、皆さまのお力をお貸しください。

～誰一人取り残さない地球を～



名知仁子(なち さとこ)

1963年生まれ。88年獨協医科大学を卒業後、日本医科大学付属病院第一内科医局入局。2002年、国境なき医師団に入団し、同年タイ・メーソートの難民キャンプ。04年からはミャンマー・ラカイン州で医療支援に携わる。また、03年には外務省のODA 団体、ジャパン・プラットフォームの要請で、イラク戦争で難民となったクルド人の医療支援に参加。08年には、サイクロンで被災したミャンマーのデルタ地域で緊急医療援助に参加する。同年、任意団体ミャンマークリニック菜園開設基金を設立し、12年6月にNPO法人ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(現MFCG)設立し、現職。



NPO法人 ミャンマー国際支援機構 (略称:MIAO) を通じて 避難民や民主派団体へのサポートをお願いします

* 匿名でのご支援も歓迎します

ミャンマーの民主化まで匿名を希望される個人の方や企業様はご遠慮なくお申し付けください。当法人が責任をもって厳重に名簿を管理します。



2021年2月1日。ミャンマーで軍事クーデターが発生し、アウン・サン・スー・チー氏や民主派の国民民主連盟 (NLD) の党员数百人が拘束されました。

国民の大多数がこれに異を唱え各地でデモを起しましたが、ミャンマー軍や警察隊はこれを弾圧し、多くの市民が殺されました。

あれから5年が経ち、ミャンマー軍と民主化勢力の衝突は激しさを増しています。現在までに多くの犠牲者

が発生したほか、UNHCRによると360万人以上の人々が避難を強いられ、困窮した生活を送っています。状況が悪化の一途をたどる中、私たちは困窮する避難民や民主派団体へのサポートを行うべく、NPO法人ミャンマー国際支援機構を設立しました。

ミャンマーの人々が置かれた厳しい状況を少しでも改善するための活動に対し、みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

WHAT'S HAPPENING

>>> 今、ミャンマーで起きていること <<<

IN MYANMAR

軍による空爆



空爆により多数の死者・避難民が発生

民主化勢力の一部は地方の村やジャングルに潜伏しています。軍はこれに対して空爆を実行。これまでにカレン州、カチン州、カヤー州、チン州や地方管区がおもな標的となり、多くの民家が跡形もなく破壊されました。

多数の避難民



国境付近に多数の避難民が発生 (写真提供: 井本勝幸氏)

空爆を始めとする軍の攻撃により、360万人以上が避難を余儀なくされています。国内避難民だけでなくタイなどの国境を超えて逃げる人も数多く、食糧や医療の不足に苦しんでいます。

民主派への弾圧



今も拘束が続くウィン・ミン大統領とアウン・サン・スー・チー氏

軍に捕らえられたアウン・サン・スー・チー氏は汚職や選挙不正など複数の罪に問われています。裁判は非公開で進められ、19の罪状で禁固33年の有罪判決を受け収監されています。

>>> ミャンマー国際支援機構が <<< SUPPORT ACTIVITIES

重視する2つの支援活動

NPO法人ミャンマー国際支援機構は、在日ミャンマー人や日本人社会活動家、衆参両国会議員らとともに設立しました。私達は「人道支援」と「民主化支援」の2つを柱に、未来のミャンマーのために活動していきます。

人道支援

本当に必要とする人々へ食糧・医療支援



モン州における食料支援の様子
(写真提供: 井本勝幸氏)

米や食用油などの支援が多い
(写真提供: 井本勝幸氏)

ミ ャンマーには国際社会から多くの支援が寄せられていますが、軍の監視下で行われる支援が多いため、軍と対立する人々には支援が届かないという問題も指摘されます。その中で、軍の目から逃れ地方へ直接支援物資を届ける活動を続ける個人や団体が存在します。当機構も彼らと連携し、きめ細やかな支援体制の構築を目指します。また、日本に逃れてきた難民のサポートなども積極的に行う予定です。

ミャンマー民主化団体の活動を支援

国民統一政府「NUG」の活動をサポート



ミャンマー民主化勢力訪日団と

今 のミャンマーを取り巻く問題を根本から解決するためには、軍による支配を終わらせて民主主義を取り戻すことが求められます。当機構では、クーデター発生後に設立された国民統一政府「NUG」を支持し、NUG駐日代表事務所と連携しながら民主化の後押しを進めます。また、日本政府に対して、軍評議会(SAC)をミャンマー政府として認めないように強く働きかけていく活動を進めます。

ミャンマーの困窮者を助けてください

* 少額でも毎月継続のご支援をお願いできれば幸いです。

個人・企業・団体様ご寄付の請求書・領収書の発行はご遠慮なくお申し付けください。

1口 3,000円

◆ 何口でもありがたくお受けいたします ◆

1回サポート / 毎月サポート
お選び頂けます

<https://miao.or.jp/support>

振込先

銀行名 PayPay銀行
支店名 ビジネス営業部(005)
口座番号 普通 6144640
名義 トクヒ)ミャンマーコクサイシエンキコウ

ご入金後、当サイトの「お問い合わせ」より
ご一報頂けましたら幸いです



理事
石橋通宏
(立憲民主党 参議院議員 /
ミャンマーの民主化を支援する
議員連盟事務局長)

代表理事
永杉豊
(MYANMAR JAPON CO., LTD CEO)

理事
逢沢一郎
(自由民主党 衆議院議員 /
日本ミャンマー友好議員連盟
会長)

監事
藤縄善朗
(日本ミャンマー友好協会会長 /
前鶴ヶ島市長)



特定非営利活動法人

ミャンマー国際支援機構

Myanmar International Assistance Organization(略称MIAO:ミャオ)

150-0001 東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号桑野ビル2F

MAIL_ info@miao.or.jp TEL_ 03-4405-0041

(ボランティアを中心に運営するため、極力メールでのお問い合わせにご協力をお願いいたします)

<https://miao.or.jp/>

BUSINESS NEWS DIGEST

ビジネスニュース・
ダイジェスト



ヤンゴンの不動産価格が急騰 政情不安で「資産避難」広がる

各地で発生する戦闘や政情不安により経済が低迷するミャンマーで、ヤンゴンの不動産価格が急騰している。政治・経済の混乱を背景に資産を守る手段として不動産を購入する動きが広がり、価格は「異常な水準」に達しているとシンガポールのメディア「The Straits Times(海峡時報)」が報じた。

世界銀行の2025年12月の報告によると、ミャンマー経済はわずかな回復の兆しが見られるものの、紛争の長期化や構造的な課題により依然として大きな障害に直面している。一方、ヤンゴンの不動産市場は政治的不安の中で資産保全を目的とした需要が高まり、2020年以降、価格は約2倍に上昇したとされる。

紛争地域からヤンゴンへの人口流入に加え、外貨規制の強化や銀行への信頼低下などが背景にあり、不動産を安全資産とみなす動きが強まっている。こうした状況は実需とは異なる「人工的な需要」を生み、供給不足と相まって価格を押し上げているという。

不動産コンサルティング会社コリアーズのカルロ・ポブレ副マネージングディレクターは「ヤンゴンなどの都市では住宅価格が2020年以降おおむね2倍に上昇し、郊外では3倍以上になっているケースもある」と指摘。「経済の基礎条件が弱く中で起きている異例の現象だ」と述べた。



©Khit Thit Media

ミャンマー投資委員会、 中国元での投資受け入れ容認

ミャンマー投資委員会(MIC)は3月18日、外資による投資申請について、従来の米ドルに加えて中国の人民元による投資を容認すると発表した。

米ドルで投資を行う場合は認可を受けた金融機関(民間銀行)を通じて送金が可能だが、人民元についても同様の手続きで資金移動が行えるとしている。

今回の措置は、欧米諸国による金融制裁

が続くドルの入手が困難となっているミャンマー経済の現状を反映したもの。最大の貿易相手国である中国との経済的結びつきを一段と強め、決済手段を多様化させることで制裁の回避と外貨不足の解消を狙う。

ミャンマー軍政、酒類規制法を施行 オンライン販売禁止など厳格化

国家安全保障平和委員会(SSPC)傘下の国家防衛・安全保障会議(NDSC)は3月7日、新たな酒類規制法を制定し施行した。

従来法より規制を強化しており、無料サンプルの配布や抽選会、おまけ付き販売などの販促活動のほか、チラシやオンライン広告などあらゆる宣伝が禁止された。また、酒類販売現場における女性の雇用や就労も禁止された。

今回制定された酒類法は全18章・99条で構成され、罰則は最長3年の禁固刑または最高1億Ks(およそ500万円)の罰金が規定されている。

通信最大手MPT、 シティ・マートと提携

ミャンマーの大手通信事業者MPTは3月4日、小売・食品流通大手のシティマートホールディングス(CMHL)と顧客向けサービスの強化を目的とした戦略的提携を締結した。

MPTの顧客基盤とCMHLの小売ネットワークを組み合わせ、デジタルサービスと小売サービスを連携させた新たな顧客価値の創出を目指す。ポイント制度の連携などを軸に全国規模で利用できる特典やサービスの拡充を検討しており、具体的な施策や実施時期は今後発表するとしている。

MPTのミョー・タン最高経営責任者(CEO)は「2,000万人以上の利用者のデジタルライフスタイルをより豊かにすることが重要だ。今回の提携により、モバイルサービスの枠を超えて小売分野まで価値を広げ、より身近で利便性の高いサービスを提供する」とコメント。CMHLのピョー・ミン・チョーCEOも「MPTとの提携は、小売とデジタルを結びつける新たな可能性を探る機会になる。両ブランドの利用者をつなぎ、より便利で多くの特典を提供したい」と抱負を述べた。

投資家向け税制優遇の 基準を発表

ミャンマー投資委員会(MIC)は、投資促進分野における税制優遇(免税・減税)を受ける

ための基準を公表した。ミャンマー投資法第100条(b)に基づく権限を行使した措置。

発表によると、優遇措置の適用を受けるには、申請書に記載された総投資額の少なくとも35%を自己資金(現金)として拠出する必要がある。

また、海外からの借入金を活用する場合は、返済計画を含むミャンマー中央銀行(CBM)の承認書を提出することが求められる。さらに、外資や借入金については、認可を受けた銀行(AD銀行)を通じて外貨で送金されたことを証明する書類の提出も必要となる。

MICは、これらの基準について、国家の政策ニーズに応じて見直しを行う可能性があるとしている。

EV乗用車に特別物品税5% 4月1日から課税

国家安全保障平和委員会(SSPC)は3月15日、電気自動車(EV)乗用車に対し特別物品税5%を課すとする「2026年度連邦税法」を公布した。4月1日から施行される。

EVは過去2年間、政府の普及促進策として免税措置が取られていたが、2026年からは課税対象となり物品税に加えて商業税や関税も課されることとなる。

一方、ガソリン車については排気量に応じて課税率が異なり、1501cc~2000ccのバン、セダン、ワゴン車は10%、2001cc~4000ccは30%、4001cc以上は最大50%の特別物品税が課される。

ヤンゴンでロブスタコーヒーの 栽培拡大

ヤンゴン管区農業局は3月20日、同管区でロブスタ種コーヒーの栽培を大規模に拡大する計画を明らかにした。2026年度に1,000エーカーで栽培を開始し、2027年度に2,500エーカー、2028年度に4,000エーカー、2029年度に5,500エーカー、2030年度に7,390エーカーへと段階的に拡大し、累計で2万エーカー超に達する見通し。

対象地域は郊外のレゲー、モービー、コーム、クンジャンゴンなど6郡区で、雨季の開始に合わせて植え付けが進められる。

ロブスタ種は低地でも栽培可能で、病害虫への耐性が高く収量も多い。苦味とカフェイン含有量の高さから、世界市場で需要の高い品種の一つとされる。苗木は通常6~12か月で育成され、植栽後3~4年で収穫が可能となる。

ミャンマー税務会計

なでしこ通信

第118回 決算の時期がきましたね

毎年3月末は年度決算です。税務申告の期限日は6月末日となります。4月に入ると水祭り休み期間が始まりますが、その前に、税金の予納手続きを行う必要があります。ミャンマーの税法においては、決算の数字が確定していないこの時期に、予納額を仮計算、もしくは前期納税実績に基づき、税金を支払っておくという制度。年度末、バタバタします。

弊事務所では、1月～2月の帳簿が確定したら順次、残りの月の決算の予測を加味して、法人税等のシミュレーションを行うと同時に、次期の事業計画の再確認をすることを推奨しております。これは、日本国内のお客様においても同様です。

予納の大きな過払いや、予納税額の不足を防ぐために、決算金額のシミュレーションは非常に重要です。

ローカルの会計事務所において、未だに期限後の監査報告書の作成や税務申告といった慣例を取っている事例が見られますが、必ず罰金が加算されますので、全ての申告は期限内に行うこととしましょう。

さて、決算に関連して、少なくとも下記の点は、気を付けておきたいものです。

- ・次年度の商業税の納税登録カードの取得
- ・タックスペイヤー署名の登録
- ・各種税金の予測及び対策及び予納状況の確認
- ・支払い先からのカードの取得手配
- ・債権債務の整理(親子間・取引先間)
- ・キャピタルゲインの課税対象となる資産譲渡等の確認

(廃棄資産もエビデンスを残す)

- ・来年度の事業計画の再確認
- ・印紙税の罰金適用の有無
- ・保存書類の確認
- ・実地棚卸(在庫、資産)
- ・現金等残高の実地確認
- ・SITにかかる年末調整

3月末は、年度末ですので、各資産の現物確認はとても重要です。棚卸、現金監査など、時間を取って行いましょう。

終わりに

原油の高騰により、各地で多大な影響が出ています。ミャンマーも例外ではありません。ここ数年間、常に困難と対峙しているミャンマービジネスですが、タフに乗り切っていきたいものです。共に頑張って参りましょう。



経理・労務・税金のご相談

日本人税理士による総合コンサルティング



若松裕子
ヤンゴン所長・税理士



原尚美
代表税理士



土屋貴嗣
ヤンゴン副所長

- ・決算・入力代行・給料計算・労務相談・税務相談・M&A
- ・ローカルスタッフの教育・経理代行・会社設立・支店登記



おかげさまで、ミャンマーオフィス開設12年目となります。日本とミャンマー、両面からの税務会計支援が可能です。ミャンマー事業のお悩みにワンストップサービスで、とことん対応!

M&A案件、工場会計承ります

ジャパンアウトソーシングサービス Japan Outsourcing Service Co., Ltd.

Tel +95-9-252405320 (若松) +95-9-404469726 (土屋) Mail japanoutsourcingmyanmar@gmail.com

No.411-412, 4th Floor, Hledan Center, 8 Ward, Kamaryut Township, Yangon, Myanmar.

税務はおまかせ!

ミャンマー Right Hand Associates

検索

価格はこちら

クーデター関連 ニュースまとめ

中東情勢の混迷は、ミャンマーにも大きな影響を及ぼしている。世界はどうなっていくのか、先が見えない。3月25日までの主なニュースをピックアップする。

[3月25日]

ミャンマー、燃料危機で 生活困窮が深刻化

ミャンマーで燃料不足が深刻化する中、食料品を中心に物価が急騰し、低所得層の生活が一段と厳しさを増している。

背景には、中東情勢の緊迫化による原油供給不安がある。2月末以降、原油輸送の要衝ホルムズ海峡の通航が制約され国内では燃料の入手が困難となった。軍政は販売制限などの統制措置を導入しているが、供給不足は解消していない。

この影響で、食料品の価格も短期間で大幅に上昇。これまで1個100Ks(およそ5円)程度だった鶏卵は550Ks(およそ27円)に、野菜類も数百Ks単位で値上がりし家庭の食卓を直撃している。

燃料価格も急騰しており、ガソリンは約47%、軽油は約69%上昇。闇市場では、1リットル8,000Ks(およそ400円)以上、地方では2万Ks(およそ1,000円)超に達するケースも報告されている。

燃料価格の高騰はあらゆる物価に波及するため、専門家は「輸入依存度の高いミャンマーは他国より影響を受けやすい」と指摘。供給不安が長期化すれば、生活危機はさらに深刻化する恐れがある。



©DVB Burmese News

世界幸福度ランキング、 ミャンマーは129位

国連の関連機関が毎年発表している世界幸福度ランキング(2026年度版)で、ミャンマーは147か国・地域のうち129位にランクされた。前年から順位を3つ落とした。

このランキングは、国際幸福デーの3月20日に発表しているもので、各国の国民に「どの程度幸せと感じているか」を評価した調査に加え、1人あたりの名目GDP、社会的支援、平均寿命、人生選択の自由度、性の平等性、社会の腐敗度などの項目を総合的

に数値化したもの。

1位は9年連続のフィンランドで、最下位はアフガニスタン。日本は、前年より6つ順位を落とし61位だった。

シャン州で 中国人民元が急騰

中国と国境を接するシャン州北部のムセで中国人民元の対チャット相場が急騰し、物価上昇などの影響が広がっている。

人民元は3月21日以降に上昇基調が続き、現在100元(およそ2,300円)＝約61,300～61,800Ksで取引されており、前週と比べて1割以上上昇した。

ムセでは国境貿易の多くが人民元建てで行われており、為替相場の高騰は損益に直結する。急激な相場変動により商取引のリスクも高まっている。

ミャンマー投資委員会(MIC)は3月17日、投資手続きにおいて米ドルに加え人民元の使用を認める方針を発表しており、通貨の実需拡大も相場上昇の一因とみられる。

燃料不足や物流停滞と相まって、為替上昇がさらなる物価高を招く可能性が高いとみられており、国境地域の経済への影響が懸念されている。

ラカイン沖で 海賊被害相次ぐ

ミャンマー西部ラカイン州沖の海域で強盗・略奪事件が相次ぎ、商人や漁業関係者の間で不安が高まっている。

関係者によると、バングラデシュのチッタゴン港からジャガイモ約400袋を積んでラカイン州マウンドー郡区に向かっていた小型船が3月20日、ラカイン水域内でバングラデシュ人漁船グループに襲撃された。乗組員が暴行を受け、積み荷が奪われたという。

同海域ではこれまでも、バングラデシュ側の漁船による違法操業や、地元漁民への威圧・略奪行為が頻発してきた。漁民らは単独操業を避け、複数船で出漁するなど自衛を強めている。

昨年9月には、違法操業の取り締まり中に地元武装組織の隊員が殺害される事件も発生しており、海上の治安悪化が懸念されている。



▲ボージャウ アウン サン マーケットは駐車中のクルマも多く、いつもと変わらないように見える

[3月24日]

ミャンマー 燃油不足が深刻化 給油回数を週1～2回に制限

国家安全保障平和委員会(SSPC)は3月22日、車両のエンジン性能に応じて、今週以降は燃料の購入回数を週1回から最大で2回までに制限する方針を明らかにした。

中東情勢の緊迫化に伴う燃料供給不安への対応と説明しており、国内での需給逼迫を回避するための措置とされる。ネピドーやヤンゴン、マンダレー、タウンジーの4都市で試験導入していたQRコードによる販売管理システムを、全国に拡大する。

軍政はこれまで、車両のナンバープレートに基づく給油日指定などの規制を導入してきたが、今回の回数制限により統制は一段と強化される。



©DVB Burmese News

クーデター以降の5年間に 女性2,100人超が死亡

ミャンマーの人権団体「政治犯支援協会(AAPP)」は3月23日、設立26周年に合わせて「刑務所の壁の向こうにいる女性たち」と題した報告書を発表した。

軍政下で政治犯女性の置かれた状況を記録したもので、2021年2月のクーデター以降にミャンマー軍兵士らの暴力により死亡した女性が2,100人を超えたと明らかにした。拘束中の拷問などにより刑務所や警察署、尋問施設で死亡した女性も少なくとも40人確認されている。また、2026年3月1日から20日までの20日間だけでも、バゴ管区で女性28人、男性16人の計44人が軍の攻撃により死亡したことが確認された。この中には2歳の男児2人を含む18歳未満の子ども21人も含まれている。

AAPPによると、2021年2月1日から2026年3月20日までに、民主化運動に関連して死亡した市民は計7,938人にのぼる。また、同期間に30,667人が拘束され、このうち

22,358人が現在も拘束下にあり11,226人に有罪判決が下されているという。

ミャンマー軍政、公務員に週1在宅勤務を指示

国家安全保障平和委員会(SSPC)は3月22日、毎週水曜日に官公庁職員が出勤せず自宅から業務を行う「在宅勤務」を実施すると発表した。

3月25日以降、対象となる職員は各自の自宅や宿舎から業務を行うことが求められる。不要不急の外出や車両利用も控えるよう指示し、燃料消費の抑制を図るとしている。さらに、民間企業に対しても可能な範囲で在宅勤務の導入を呼びかけた。ただ、国内では通信環境や電力供給が不安定なため、実施は困難との見方も出ている。

今回の措置は、中東情勢の緊迫化に伴う燃料供給不安を見据えた対応とされる。軍政は「国内の燃料備蓄は十分」としつつ、将来的なエネルギー不足に備えた予防措置だと説明している。

一方、市民の間では「国民に燃料節約を強いる一方で、軍は空爆などの軍事作戦に大量の燃料を費やしている」との批判も広がっている。

[3月23日]

大地震からまもなく1年、マンダレーで追悼式典開催へ

マンダレー管区政府は、昨年3月28日に発生したミャンマー中部を震源とするマグニチュード7.7の大地震から1年となるのにあわせ、28日に追悼式典を開催すると発表した。

式典は同日午前に行われ、僧侶への供養や読経などを通じて、犠牲者への功德回向が行われる。午後には、災害対応の最前線で活動した社会団体やボランティアを顕彰する式典が開かれる予定。

公式発表による死者は3,800人を超え、数十万人が避難を余儀なくされた。統計によると、住宅被害は55,587棟で、道路や橋梁、公共施設なども損壊し経済的損失は19億米ドル(およそ2,800億円)にのぼる。

隣接するザガイン管区では軍による空爆や地上作戦による被害も重なり、復興は道半ばとなっている。



©Global New Light of Myanmar

シャン州で89億Ks相当の覚醒剤錠剤を押収

ミャンマー警察は3月21日、タイと国境を接するシャン州東部のタチレク郡区で89億Ks(およそ4億4,500万円)相当の覚醒剤を押収したと発表した。

警察の発表によると、同郡区マカホカン地区パダウ通りのホテル付近に3台の不審なトラックが停車しているとの通報を受け治安部隊が捜索を実施したところ、車内からWY錠(ヤーバーとも呼ばれるメタンフェタミン系の覚醒剤)1,780万錠を発見、押収した。

捜索時に車両の所有者や運転手の姿はなく、当局は逃走した容疑者の特定と逮捕に向け、周辺地域での捜索を継続している。

[3月19日]

ヤンゴンでも計画停電再開

国家安全保障平和委員会(SSPC)電力省は、需要増加に伴う電力不足に対応するため、3月18日から一部地域で時間帯ごとに電力供給を制限する計画配電を実施すると発表した。

同省によると、乾季にあたる3月から6月にかけて気温上昇により電力需要が増加しており、発電能力とのバランスを取るため、地域や時間帯ごとに供給を調整する必要があるとしている。

最大都市ヤンゴンでも停電の発生が確認されているが、これまでのところ対象地域や具体的な時間帯などの詳細については発表されていない。

一方、LNG(液化天然ガス)火力発電所から直接供給される系統については調整の対象外とし、継続的に電力を供給する方針。同省は、発電量の制約によりやむを得ず実施する措置だと説明し、国民に対して電力の節約と理解を求めている。

ミャンマー軍政、電子パスポート制度を導入

国家安全保障平和委員会(SSPC)は3月17日、従来の旅券に代わりICチップ搭載の電子パスポート(eパスポート)制度を導入する方針を明らかにした。

既存のパスポート所持者は所定の手続きに従い、新たな電子パスポートの発給を申請する必要がある。申請時には、従来のパスポート原本とその写しの提出が求められる。一方、現行のパスポートについては、有効期限までは引き続き使用可能とされている。ただし、電子パスポートの発給を受けた後は、従来のパスポートを当局へ返納することも義務付けられた。

また、当局は申請内容を審査したうえで、要件を満たしている場合に電子パスポートを発給し、不備がある場合は拒否できると規定している。

電子パスポートはICチップに個人情報を記録することで偽造防止や出入国手続きの効

率化を図るもので、各国で導入が進んでいる。ミャンマーでも制度移行により、国際的な渡航手続きの標準化が進む可能性がある。

[3月18日]

ヤンゴンで徴兵目的の拘束急増

最大都市ヤンゴンで、軍管区司令官の交代後、徴兵目的とみられる拘束やゲストリスト(区外滞在者リスト)の検査が増加している。

ミャンマー軍は3月2日、地方軍司令部の人事を発表し、前ヤンゴン軍管区司令官のブレイ・ソー・リン中將を昇進させ、新たにティン・ミン・ラット准將を同司令官に任命した。ティン・ミン・ラット氏が着任した3月5日以降、多くの地区で検問や拘束が増加したとされる。

ヤンゴンの現地情報を収集する市民グループ「ラングーン・スカウト・ネットワーク(RSN)」によると、司令官交代前の2月には徴兵目的の拘束やゲストリスト検査に伴う逮捕は52件だったが、交代後は3月前半2週間だけで85件に増えたという。

拘束は主に路上で行われており、少なくとも45人が通行中に連行されたほか、住宅への立ち入り捜索で5人が拘束された。さらにゲストリストの検査を理由とした拘束が相次ぎ、金銭を要求されるケースも確認されている。

[3月13日]

ヤンゴンの若者に麻薬蔓延 低価格化で入手容易に

最大都市ヤンゴンで、若者の間にケタミンやエクスタシーといった違法薬物の使用が急速に広がっている。物価高騰が続く一方で薬物の価格は貧困層にも手が届く水準まで低下しており、SNSや路上の売店を通じて中高生らにも浸透している実態が明らかになった。

違法薬物の撲滅運動に携わる関係者によると、販売にはSNSや通信アプリも利用されており、特にメッセージアプリ「Telegram」を通じて注文を受け付け、受け渡し場所と時間を指定する取引が増加している。

日中に営業する「デイ・クラブ」が主な使用場所となっているとみられ、音楽に合わせて高揚感を得るために乱用が繰り返されているという。関係者は「好奇心から始めた若者が、気づけば自らが密売人となり、さらなる犠牲者を生む悪循環に陥っている」と危機感をあらわにした。



©NP News

Myan Japo 特製MAP

最新版

地図の記号

- ☐ カフェ
- ☐ レジャースポット
- ☐ 銀行・両替
- ☐ ホテル
- ☐ ナイトスポット
- ☐ パゴダ・寺院
- ☐ 日本料理屋
- ☐ ショッピング
- ☐ 観光地
- ☐ ミャンマー料理屋
- ☐ SPA・マッサージ
- ☐ オフィス
- ☐ 韓国料理屋
- ☐ スポーツ施設
- ☐ 工場
- ☐ その他料理
- ☐ ゴルフ場・練習場
- ☐ マンション

以下のサイトからPDF版がダウンロードできます
<http://myanmarjapo.com>

ミヤウツカカラバ
 မြောက်အိုကလာပါ

ミヤウツダゴン
 မြောက်အိုကလာပါ

マヤンゴン
 မြောက်အိုကလာပါ

ミンガラドン
 မြောက်အိုကလာပါ

インセイン
 မြောက်အိုကလာပါ

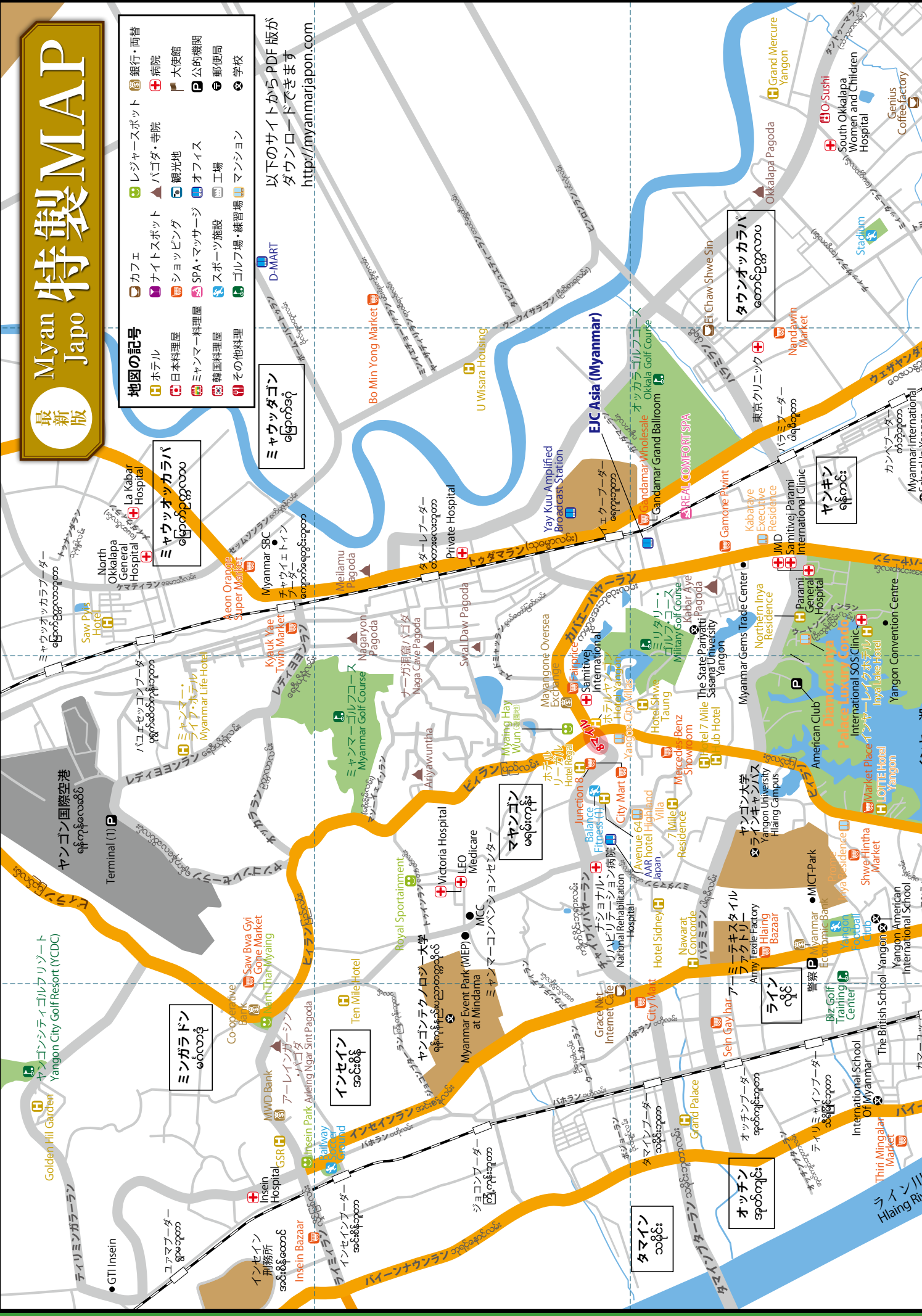
ライン
 မြောက်အိုကလာပါ

オウチン
 မြောက်အိုကလာပါ

タマイン
 မြောက်အိုကလာပါ

タウンオウツカラバ
 မြောက်အိုကလာပါ

ヤンキン
 မြောက်အိုကလာပါ



A B C

1

2

3

4

A

B

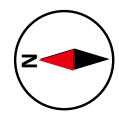
C



**タクシ-運転手対策の
ミャンマー語表記**

「ラン」とはミャンマー語
で道 (Road・Street) のこと。
「ブ-ダー」とはミャンマー
語で駅 (Station) のことを
指す。

ヤンゴン(ランダ-ン)全域
Yangon (Rangoon)







ヤンキン
ရန်ကင်း

ティンガンチュン
သက်န်းကျွန်း

タームエ
တာမေ

チャウミヤウン
(ကျောက်မြောင်း)

ミンガラタウンニュー
မင်္ဂလာတောင်ညွန့်

シュエダゴン・パゴダ周辺
~インヤール湖(南)





「ミニ知識：ダウンタウンの名称ルール」
 ダウンタウンの一部などは碁盤の目になっていてわかりやすい。縦の通りは西から順に東へ数え、原則 2 つの数字の通りを挟んで 1 つの大通り。

ヤンゴンダウンタウン
 Downtown of Yangon

© MYANMAR JAPON CO., LTD. MAPの無断転載を禁じます

MYANMAR JAPON



A

B

ティラワ経済特別区 (SEZ)

0 500m

地図の記号

- 工場
- オフィス
- 倉庫
- 銀行

※地図上に記載されている社名には、建設中・稼働中の双方が含まれます

ZONE A (405Ha)

ヤンゴンからゴダを南下し、かつては凸凹スムーズに走



ガソリン補給のタンクローリーで渋滞するため、こちらは通らないのが一般的



A

B

1

2

3

は有名なチャイカウパ
ていくルートが一般的。
だった道路も整備され、
れるようになった



**ZONE B
(101Ha)**



ティラワのランドマーク
である正面ゲート

1

2

3

ZONE A (405Ha)

ZONE B (101Ha)

ティラワ経済特別区(SEZ) ZONE B

地図の記号

- 工場
- オフィス
- 倉庫
- 水処理場

※地図上に記載されている社名には、建設中・稼働中の双方が含まれます

ミャンマキナン

工場: SEWAGE SENDING STATLON, PIONEER ALLIANCE MANUFACTURING, Sports Gear (Myanmar), Oshimanoki Myanmar, JFE Meranti Myanmar, Yangon Industrial Gas (Thilawa), Slam GS Battery Myanmar, RK Yangon Steel, LS-Gaon Cable Myanmar, Kubota Myanmar, DS Myanmar, Unique Sea Products Myanmar, Norman Myanmar, TOYOTA MYANMAR, OKAMURA TRADING MYANMAR, TG Plaspack, Liwayway Foods, Lightion Myanmar, Osotspa Myanmar, Advanz Beverage Manufacturing, YUKIOH, SAINT GOBAIN, BS Yangon, DAE-A ELECTRONICS MYANMAR, Tohno Precision Myanmar, Hansae Myanmar, 住友電装

MJTDの前の道を東側に3分ほど進み、一つの十字路を右折する

ゾーンBへの入り口は現在こちらのみ。ゾーンAからは車で6、7分ほど

銀行振込対応

ONLINE

ミャンマー最新ニュース

無料

法人プレミアム会員お勧めします

- 最新ニュースやバックナンバーが読み放題
- 記事のリサーチに便利な検索機能
- 複数ID (アカウント) 割引でさらにお得に

ミャンマージャパン法人

>>> ミャンマー情勢やビジネス環境を把握するなら「プレミアム」が不可欠

世界27カ国にわたる実績あるEJC Asia
海外ネットワークにより、最適で高品質な
物流サービスをご提供いたします。

EJC Asia (Myanmar) Co., Ltd.

Room 8A, No.8, Danatheikdi resident, Danatheikdi street, 8 Quarter,
Mayangone Township, Yangon, 11061, Myanmar
E-mail : info@ejcasia.com Phone : +95-(0)9-421124747(担当:ト)

**ミャンマー最新情報を
どこよりも早く!**

ビジネスマン必読!
プレミアム会員のメリット

- 最新ニュースが読み放題
- 過去の全ニュースを閲覧可能
- 全バックナンバーがネットで閲覧可能

7日間無料
いつでも
解約可能!

月額**6900円**(税込7590円) myanmarjapon.com

MIYANMAR
 **JAPON**
ONLINE

WEBサイトを開く

<https://myanmarjapon.com/>